



桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和4（2022）年10月7日 第7号

文責：校長 佐藤 正貴

前期終了と後期に向けて

ついこの間、始業式を迎えて今年度をスタートしたと思っていきましたが、あっという間に半年が過ぎてしまいました。よく年を取ると1日の時間が早く流れるということを聞きますが、本当にその通りの期間でした。

この半年の間、子どもたちの成長を見てきましたが、一番変化を感じているのは掃除時間です。4月当初の掃除時間、校長室前の廊下は多くの児童とそれぞれの声でざわついており、掃除をする手も止まりがちでした。合志市全体で無言掃除に取り組んでいますが、徹底するまで少し時間がかかると思っていました。本校でも、全職員での共通実践として児童への指導を進めてきました。その結果、急にではありませんが、徐々に掃除時間に聞こえていた児童の声が小さくなり、先生方のちょっとしたアドバイスや児童を誉める声の方が目立つようになってきました。校長室前の廊下を児童がぞうきんがけをしています、とても上手になっています。中には、校長室のドアを開けて「ここも綺麗にしましょうか」と声をかけてくれる児童もいます。

完璧に無言掃除が出来ているのかということ、まだ足りない部分もあります。しかし、根気強く、丁寧に指導を行い、出来ていることを認めていくことで、児童の姿は変わってきています。こうした児童の成長を見ることが出来ることは、嬉しいものです。

通知表・・・。

私の小学校1年生の時の通知表を、先日久しぶりに見ました。実家の方に保管してありました。当時は5段階評価の相対評価（学級の〇%が5というような評価）でした。成績は、ほぼ3でした。担任の先生からの所見には「授業中落ち着きがなく・・・。」ということが書かれていました。確かに、よく先生に怒られていました。家に帰ってから、父親にとっても怒られました（父も教員）。しかし、その後、どうすればいいのか話してくれたことを覚えています。

通知表は、今のお子様の状況をお知らせしているものです。今回の評価が全てではありません。お子さんのよい部分は更に伸ばし、課題に関してはどう改善していくのかということなどをご家庭でしっかりと話をさせていただく材料になればと思っています。

地域で生きるということ

学校には、地域の方からの連絡がしばしばあります。児童の行動に感心された内容もあれば、しっかり指導してほしいという内容もあります。

今回は、保護者の協力がなければ徹底が難しい内容についてお知らせします。ここでお知らせする理由は、秋休みを利用して、放課後の過ごし方について、お子さんと今一度確認をしていただけたらと考えたからです。

今年度、地域の方からの連絡で一番多い内容は、道路での遊び方です。自転車等の乗り物を利用した遊びで、危うく事故につながりそうな事案がいくつもありました。ヘルメットの着用や交通ルールを守った正しい乗り方については、学校でも指導はできます。しかし、正しいルールの定着を徹底するためには、ご家庭での繰り返しの指導が必要です。また、道路でのボール遊びに関しても連絡があります。勿論、広場等で遊ぶことが原則ですが、今回の問題は、遊んでいたボールが他人の家に入ったり、畑に入ったりしたときの行動です。黙って家に入っていく、せっかく耕した畑を踏み荒らして取りに行くというようなことがあります。そこにおられた方が注意すると、走って逃げるということもあります。そういった場合は、きちんと断って取りに行くことが必要です。

交通ルールを守ったり、失敗したりしたときはきちんと断りを入れることができるようになることで、地域でかわいがられる子どもたちになるのではないのでしょうか。

